

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

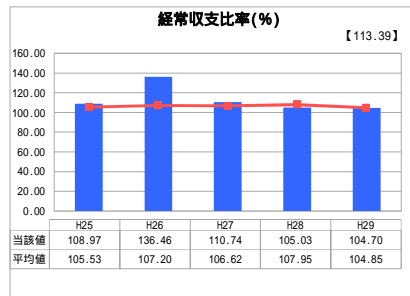
高知県 四万十町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	40.99	28.49	2,548	

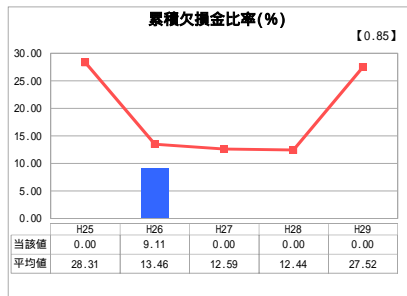
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,528	642.30	27.29
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,946	3.80	1,301.58

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】平成29年度全国平均

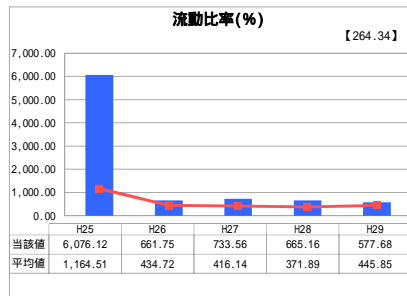
## 1. 経営の健全性・効率性



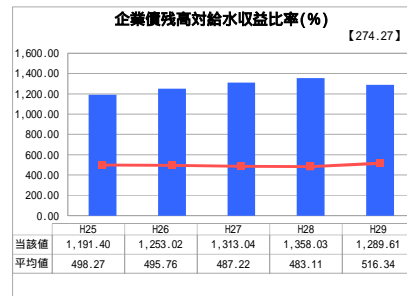
「経常損益」



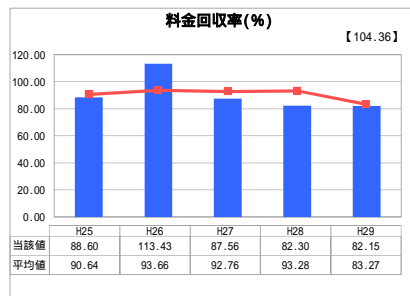
「累積欠損」



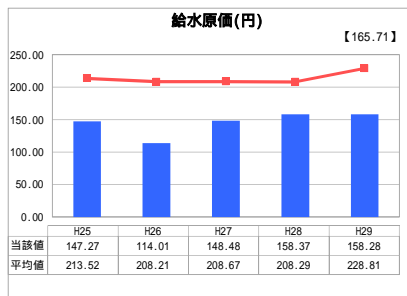
「支払能力」



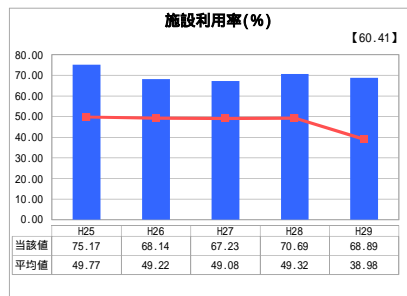
「債務残高」



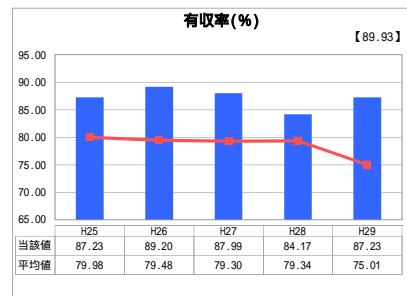
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

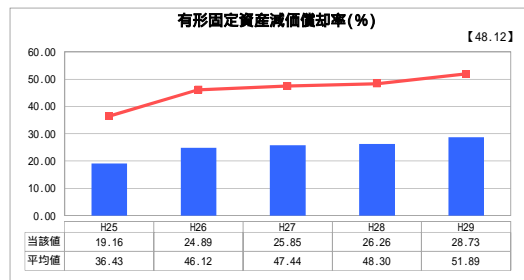


「施設の効率性」

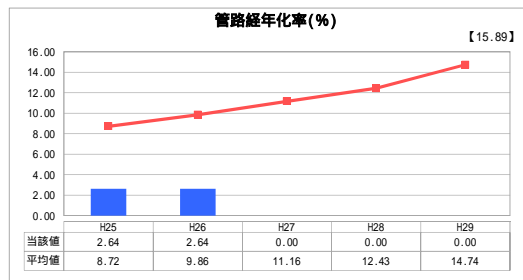


「供給した配水量の効率性」

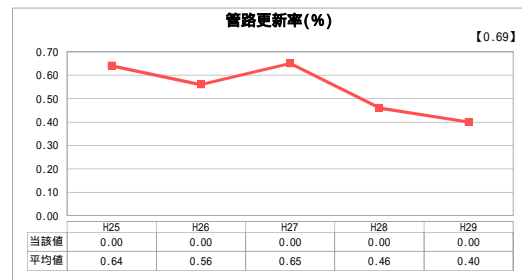
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率、料金回収率については、浄水場浸水被害により特別損失（固定資産除去費）を計上した事による累積欠損金の発生等、H26の値が大きく変化している。尚、累積欠損金については、H27に解消している。  
 企業債残高対給水収益比率については、平成15年～平成17年に行った建設改良のため借入れた起債残高が大きく、全国平均値を上回った値となっている。  
 効率性を現わす施設利用率、有収率については、基幹管路を含む施設が更新済みであり、全国平均値を上回り効率的に運営している。

### 2. 老朽化の状況について

平成15年から平成17年における建設改良（施設更新）により、主要な施設（取水、浄水場、配水池、基幹管路）の更新が完了している状況である。

## 全体総括

施設更新（耐震化等）のために、借入れた企業債の償還負担が大きく、経営を圧迫している。  
 主要な施設の更新は完了していることから、今後においては、需要に見合った更新投資と収支の改善を図っていく。

平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。